

すくわくプログラム推進事業実践報告書

所在地	東京都新宿区払方町 19-1 エムジー市ヶ谷ビル 2 階 3 階
施設名	ポピンズナーサリースクール市ヶ谷

1. 活動のテーマ

<テーマ>

職業体験～大道芸～

<テーマの設定理由>

すくわく事業に関して、保護者の方へ説明と共に何かよいアイデアや協力していただける方はいないかというお願いに対して、1 人の保護者様から大道芸ができるとの申し出があった。

同じくして、子どもたちの間で、「パパは手品ができるの。」「〇〇ちゃんのパパ、上手だよね」「見てみたい～!」という声上がり、このテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

12 月 13 日：保護者様へプログラムご協力のお手紙配布

1 月 6 日：お仕事についてお子様と話し合い

1 月 24 日：保護者様と事前打ち合わせ、日にち決め

2 月 4 日：0 1 2 歳児 大道芸・マジックショー見学

2 月 13 日：3 4 5 歳児 大道芸・マジックショー見学、体験

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

マジックショーや大道芸をする場所の確保
保護者様へ実施日の周知

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

【012 歳児】マジックショー見学

目の前で繰り広げられるマジックに目を丸くして見ており、驚きの表情を見せていた。

【345 歳児】マジックショー見学・体験

同様に驚きの表情を見せたり何かが浮いたり、消えたり、増えたりすると「えー！！」と興奮していた。体験では皿回しとバルーンアート作りを行った。やってみたいお子様がたくさんおり積極的に手を挙げ参加していた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

【012 歳児】

マジックショーを集中して見ていた。マジックが次々と続くとぼかんとした表情もあったが楽しんで参加していた。2 歳児になると「すごい！」「もっとみたい！」とお友だちや保育者と話す姿がありました。

【345 歳児】

マジックショー見学ではどのお子さまも大興奮で見えていた。「えーなんで！？」「どうなってるの」「すごい」と友だち同士で話す姿があった。体験コーナーでは「やってみたい！」と言い積極的に参加していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

普段体験できないプロのマジシャンからのショーを見せていただきお子様はもちろん、大人（保育者）も大いに楽しむことができた。保育園にいただけでは経験することのない本物の体験をすることができ良かった。また、保護者様が実際に保育に参加していただきこちらも貴重な経験になったのではないかと感じる。今後も保護者プログラムを取り入れていき様々な本物体験ができる機会を増やしていきたい。